

バランスシート

(平成15年3月31日現在)

住民基本台帳人口 15,509人

借 方	構成比	貸 方	構成比
【資産の部】 1. 有形固定資産 住民1人当り 総 務 費 23億8,422万円 (15万円) 民 生 費 16億6,762万円 (11万円) 衛 生 費 1億9,020万円 (1万円) 労 働 費 6,062万円 (1万円) 農 林 水 産 業 費 46億4,446万円 (30万円) 商 工 費 38億2,355万円 (25万円) 土 木 費 97億9,568万円 (63万円) 消 防 費 1億5,593万円 (1万円) 教 育 費 81億2,032万円 (52万円) そ の 他 9億5,278万円 (6万円) 有形固定資産合計 317億9,538万円 (205万円) (うち土地) 83億2,052万円 (54万円)		【負債の部】 1. 固定負債 地 方 債 59億5,095万円 (38万円) 債 務 負 担 行 為 4,034万円 (0万円) 退職給与引当金 8億1,662万円 (5万円) 固定負債合計 68億 791万円 (43万円) 2. 流動負債 翌年度償還予定額 8億5,251万円 (6万円) 翌年度繰上充入金 0万円 (0万円) 流動負債合計 8億5,251万円 (6万円) 負債合計 76億6,042万円 (49万円) 20.9% 【正味資産の部】 1. 国庫支出金 14億 765万円 (9万円) 2. 都道府県支出金 20億5,002万円 (14万円) 3. 一般財源等 254億5,532万円 (164万円) 正味資産合計 289億1,299万円 (187万円) 79.1% 負債・正味資産合計 365億7,340万円 (236万円) 100.0%	
2. 投 資 等 投資及び出資金 2億4,165万円 (2万円) 貸 付 金 2億 400万円 (1万円) 基 金 18億1,617万円 (12万円) 退職手当組合積立金 2億2,232万円 (1万円) 投資等合計 24億8,414万円 (16万円)		3. 流 動 資 産 現 金・預 金 22億3,057万円 (14万円) 未 収 金 6,331万円 (1万円) 流動資産合計 22億9,388万円 (15万円)	
3. 流 動 資 産 現 金・預 金 22億3,057万円 (14万円) 未 収 金 6,331万円 (1万円) 流動資産合計 22億9,388万円 (15万円)		資産合計 365億7,340万円 (236万円) 100.0%	

有形固定資産
庁舎、学校、公民館などの建物やそれらの用地で、土地を除き減価償却をしたもの

投資及び出資金
協会、公社等に対する出資金等

貸付金
各種貸付等

基金
特定な目的の使用のために積み立てた基金

退職手当組合積立金
県市町村事務組合に積み立てられている年度末における退職手当の富士見町分

現金・預金
将来に備えての預金・財政調整基金

未収金
年度内に納められていない税金等

地方債
地方債のうち平成16年度以降に返済する額

債務負担行為
用地等の購入費を分割で支払っている額

退職給与引当金
年度末に全職員が退職すると仮定した時の退職金合計額

翌年度償還予定額
地方債のうち平成15年度に返済する額

正味資産
資産を形成するために現在までに負担された国、県、富士見町の金額

※債務負担行為にかかる補償等

①物件の購入等に係るもの	40,336千円
②債務保証及び損失補償に係るもの	4,400,000千円
③利子補給等に係るもの	558,272千円

◇バランスシートは総務省が作成した統一基準により作成しましたが、次のような条件や留意点があります。

- ①作成した基準日は平成15年3月31日現在です。
- ②対象となる会計は普通会計（一般会計と有線放送電話特別会計、公共用地取得事業特別会計）で水道会計、下水道会計、土地開発公社などの会計は含まれていません。
- ③積み上げた基礎数値は昭和44年度以降の決算統計のデータによるものです。昭和43年度以前のは含まれていません。

■バランスシートの見方

バランスシートでは借方（左側）には、お金を何にいくら使ったか。取得した資産の年度末残高を記載し、貸方（右側）には、それらの資産の取得にあてられた財源などを将来において負担しなければならない負債と将来に負担を残さない正味資産に分け記載しました。

$$\text{資産（借方）} = \text{負債} + \text{正味資産（貸方）} \quad \text{の金額は一致します。}$$

■バランスシートから分ること

決算時点での町の資産や負債の状況を把握することができます。

道路、公園、学校、図書館等の施設の建設やその土地の取得など、今ある資産に対して79.1%の支払いが済んでいて今後の支払い（借入等）は20.9%と低くなっています。

正味資産の割合（79.1%）が高いほど財務の安定性が高く、近年この比率（昨年比1.0%増）は増加傾向にありますので、安定した財政運営が図られていると分析しています。

■バランスシートの前年度対比

住民ひとりあたりのバランスシート

(単位：円)

	平成13年度	平成14年度
資 産 額	2,416,870円	2,358,208円
負 債 額	528,224円	493,933円
正 味 資 産 額	1,888,646円	1,864,275円